

# 劉薇ヴァイオリン・リサイタル

日本デビュー演奏活動35年記念

LIU WEI  
35<sup>TH</sup> 劉薇

ANNIVERSARY  
RECITAL

ピアノ: 丸山 滋  
MARUYAMA SHIGERU

2023.12.12(火)

19時開演 (18時半開場)

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2  
TEL:03-5541-8710

チケット  
(全自由席)

¥5000(前売り)  
¥6000(当日)  
後援会会員; ¥4500

主催: 劉薇後援会



<Mail>



<Stores>

心と心をつむぐ音楽家

戈壁砂漠の風に乗って世界を巡る



馬思聰作品より Ma Sitsun

思郷曲  
Nostalgia

喇嘛寺院  
Lamasery

ロンド第2番  
Rondo No. 2

ロンド曲第4番  
Rondo No. 4

新疆ラプソディー  
Xing Jang Rhapsody

ヴァイオリンソナタ ドビュッシー  
Violin Sonata C. Debussy

序奏とロンドカプリチオーソ サンサーズ  
Introduction and Rondo Capriccioso C. Saint-Saëns

ゆりかご フォーレ  
Les Berceaux G. Fauré

月の光 ドビュッシー  
Clair De Lune C. Debussy

子供の夢 イザイ  
Révé d'enfant E. Ysaÿe

## お申込み・お問い合わせ

エム・バイ・ミュージックス 080-5421-4498 mxmusic55@gmail.com  
朝日ホール・チケットセンター03-3267-9990  
チケットぴあ (セブンイレブンでも購入可) Pコード 254-133

\*チケットは発行していません。事前振り込みです。  
\*お申し込みはメール又はSTORESでお待ちしています。  
\*メールでお申し込み後、振込先をお知らせします。

# 劉薇ヴァイオリンリサイタル

## 日本デビュー演奏活動35年記念

ヴァイオリニスト・音楽博士 劉薇Liu Wei

わたくしの日本演奏デビューは、来日して2年後の1988年です。どのようなアイデンティティを持ったヴァイオリニストとして日本の音楽舞台に現れるかを自分に問いかけました。

中国のゴビ砂漠で育ち、文化大革命中に父の手書き譜で音楽を始めました。西洋文化批判の中、ひたすら父と二人三脚で艱難辛苦を耐え、音楽の道なき道を歩み続けました。この稀な体験で培った開拓精神は、日本における35年の演奏活動の大きな支えとなりました。

古今東西のヴァイオリン作品の大海で迷うことなく、初リサイタルでは中国最初のヴァイオリニスト、フランスで学んだ大作曲家馬思聰 (Ma Siston 1912-1987) を取り上げました。13才で耳にした馬思聰の《山歌》との出会いは、その後のわたくしの音楽観形成に大きな影響を与え、日本のヴァイオリン演奏分野では珍しい音楽博士号を取得することにもつながりました。生涯のテーマとして馬思聰作品の紹介、また、埋もれていた矢代秋雄、貴志康一ほか日本の優れた作曲家の作品を再演したことで、高い評価もいただきました。

こうした中国・西洋・日本の3本柱を軸にしたわたくしのレパートリー、アジアにおける西洋音楽との融合の焦点を当てた演奏は、一貫してわたくしのアジア人音楽家としてのアイデンティティの原点でもあります。

このたびのデビュー35周年記念リサイタルは、前半にこの2月に最先端高精細空間音響録音技術で録音した馬思聰の新作、後半は馬思聰と関わり深いフランス音楽を中心に絞りました。ご堪能いただけたら幸いです。

Liu Wei

「楽界に独自の地歩を築き、博士の学位を取得するに至った我々日本人の持たない流麗な抒情性と輝き、しかも透明な美しい音色を持つアジアをリードする優れた演奏家である」と称賛されたヴァイオリニスト。

中国ゴビ砂漠の西北地域蘭州市生まれ。文化大革命(1966-1976)西洋批判の中、7才でヴァイオリンを学ぶ。父の手書き譜で隠れて練習し、艱難辛苦を克服した『父と娘が紡いだ音楽への道』は多くの人に感動を与えている。86' 西安音楽院卒業後来日、99' 東京芸術大学より日本のヴァイオリン演奏分野で数の少ない音楽博士号を授与される。中国の大作曲家・ヴァイオリニスト馬思聰作品の発掘演奏及び日本の代表作曲家矢代秋雄、貴志康一、尾崎宗吉、助川敏弥の作品発掘初演で高い評価を得ている。日本各地及び米国内カーネギーホール、アイルランド、スペイン、カナダ、また、中国文化省・北京中央音楽院の招聘で『劉薇～馬思聰晩年未発表作品リサイタル』、上海江南3都市、貴州省招聘公演、シルクロード蘭州・新疆ツアー、広州芸術祭演奏などを行う。06' 浜離宮朝日ホールで来日20周年記念リサイタル。08' NHKホール「JOC北京オリンピックコンサート」で新日本フィルハーモニーと共演。ドレスデン国立歌劇場管弦楽団メンバーと共演。アムステルダム・ロイヤルコンサートヘボウのメンバーと共演。16' 来日30周年記念リサイタルを紀尾井ホール、21' 来日35周年記念リサイタルをサントリーブルーローズで開催。これまでCD7枚リリース。日本の主な新聞、NHKテレビ・FMラジオに取り上げられる。

持病の腎不全を克服するためのレシピ本『人工透析なしで10年～でも元気な私の食生活』(講談社)、体験本『なぜ私は人工透析を拒否してきたか』(きずな出版)の著書を出している。2019年夫婦間生体腎移植を行う。YouTubeにて八ヶ岳の大自然とのコラボ演奏動画を配信している。2023年8月より、京都情報大学院大学の教授に就任。Liu Wei ホームページ [www.liuwei-musics.com](http://www.liuwei-musics.com) YouTube 劉薇Liu Wei Music チャンネル



丸山 滋 (ピアノ)

Shigeru Maruyama

東京藝術大学大学院修士課程を修了。修了時にクワイター賞を受賞。植田克己氏に師事。

1992年よりドイツ学術交流会 (DAAD) の政府奨学金留学生として、ミュンヘン音楽大学マイスター課程に入学。ピアノをクラウス・シルデ、歌曲演奏法をヘルムート・ドイチュの各氏に師事。1994年、ハンス・プフィツナー歌曲コンクール(ミュンヘン)において歌曲伴奏特別賞を受賞。同年、ミュンヘン音楽大学を修了。

1995年の帰国後はソロ活動のみならず、ソプラノの鮫島有美子、テノールの吉田浩之、ヴァイオリンの千住真理子ら多くの一流演奏家たちから大きな信頼を寄せられるパートナーとして、全国各地でのリサイタルやCD録音など様々な機会でも盛んな共演を続けている。1997年、J.S.G.国際歌曲コンクール(東京・大阪)において優秀伴奏者賞を受賞。同年、日本演奏連盟主催『演連コンサート93』として東京文化会館でデビューリサイタルを開催。2014年、札幌コンサートホールKitaraでの「丸山滋ピアノリサイタル～死への追憶・生への讃歌」が札幌市民芸術祭大賞を受賞。東京藝術大学において室内楽科非常勤講師を務めた後、現在同大学声楽科およびピアノ科非常勤講師。



### 交通のご案内

●都営地下鉄大江戸線・築地市場駅 A2出口すぐ

◎その他の交通案内

築地駅 : 東京メトロ日比谷線 (1, 2番出口) より徒歩約8分

東銀座駅 : 東京メトロ日比谷線/都営浅草線 (6番出口) より徒歩約8分

汐留駅 : 都営大江戸線 (新橋駅方面改札口) /

新交通ゆりかもめ (改札口) より徒歩約10分

新橋駅 : JR (汐留口) / 東京メトロ銀座線 (1, 2番出口)

都営浅草線 (改札口) より徒歩約15分

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 Tel. 03-5541-8710  
[www.asahi-hall.jp/hamarikyū/](http://www.asahi-hall.jp/hamarikyū/)

